

## 歴史コラム すみよし歴史散歩

住吉区の歴史や魅力を皆さんに再発見していただくためのコーナーです。

### お た う え し ん し 御田植神事

初夏の風物詩-田植え。田の神さまを祀り、五穀豊穡を願う田植え神事は全国各地で行われています。なかでも、住吉大社で毎年6月14日に行われる「御田植神事」は、実際の田を使用し、諸儀式を省略せずに盛大に行われるもので、重要無形民俗文化財に指定されています。

神前より授かった早苗は植女から替植女に渡され、田植えが粛々と進められていきます。その間、御田に設けられた舞台では、神楽女による「八乙女舞」、侍大将が威武を示す「風流武者行事」、



菅笠の女兒による「住吉踊」などが演じられます。これは、芸能の力が穀霊の働きを増進し生育を促すという古来の考え方によるものとされています。

大都市・大阪に脈々と受け継がれてきたこの「御田植神事」。私たち現代人にとって、昔さながらにゆったりと流れる時間の中、日本の原風景に出会える素晴らしい宝物といえるのではないのでしょうか。

NPO法人すみよし歴史案内人の会 森島 克一  
(写真は筆者撮影)

【ご注意】住吉大社さまHPの4月30日付「御田植神事中止のお知らせ」によると、「新型コロナウイルス感染拡大防止の為、御田植神事(6月14日)の御田式場之儀を中止いたします。神事の拝観はできません。」とあります。残念ながら観覧できるのは来年以降となるようです。

